Qanat Universe エージェント

（奉行 V ERP クラウド）

共有サーバのフォルダを参照するための

設定手順書

2025/04 版

内容

はじめに 3

１．環境 1、環境 2 に共通するユーザーを作成 4

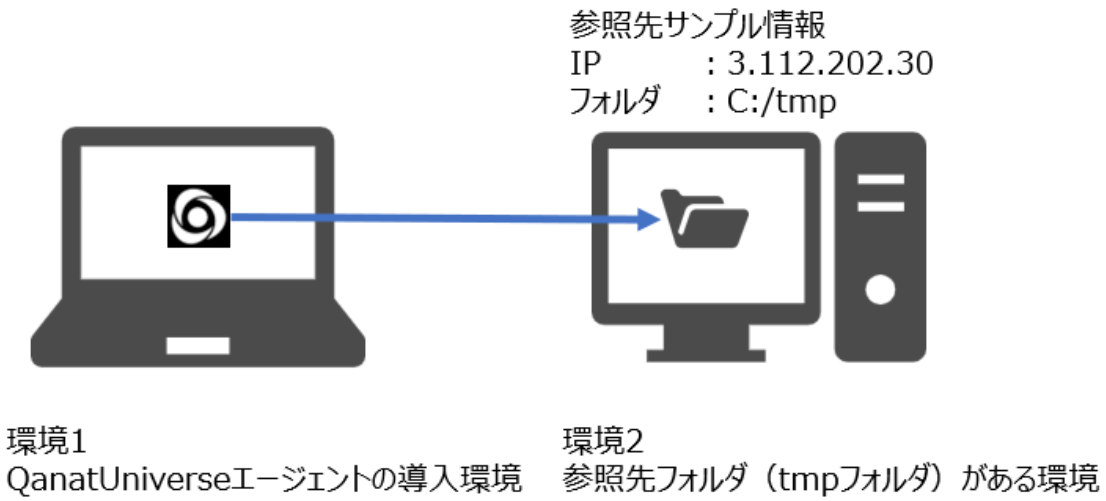
２．環境 2 にて共有設定を実施 9

３．環境 1 にて Qanat Universe エージェントから参照するための設定を実施 12

はじめに

本書では Qanat Universe エージェント（奉行 V ERP クラウド）から外部の Windows 環境（クライアント PC、サーバーOS）にあるフォルダを参照するための設定手順について説明します。

本書での構成は下記になっております。



以降、Qanat Universe エージェントの導入先を環境 1、参照先フォルダがある環境を環境 2 として説明します。
大きな手順は以下となります。

1．　環境 1、環境 2 に共通するユーザーを作成
2．　環境 2 にて共有設定を実施
3．　環境 1 にて Qanat Universe エージェントから参照するための設定を実施

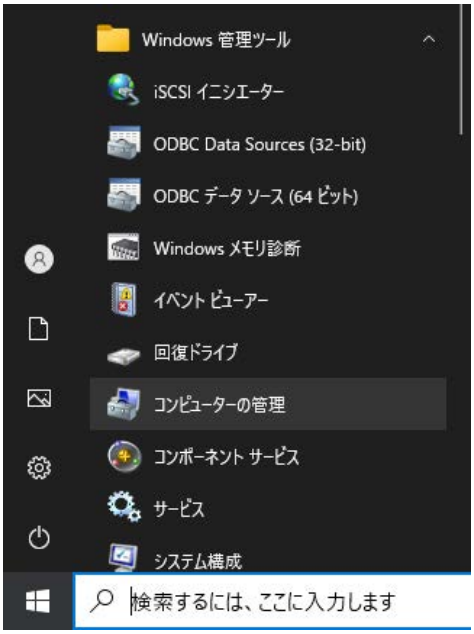
※注意点

ネットワーク越しのファイル、フォルダに対する操作となるため、ネットワークが原因でのエラーが発生する可能性があります。ネットワークが原因である場合には製品側での対処・回避は難しいため、この点についてご了承いただいたうえで本設定をご利用ください。

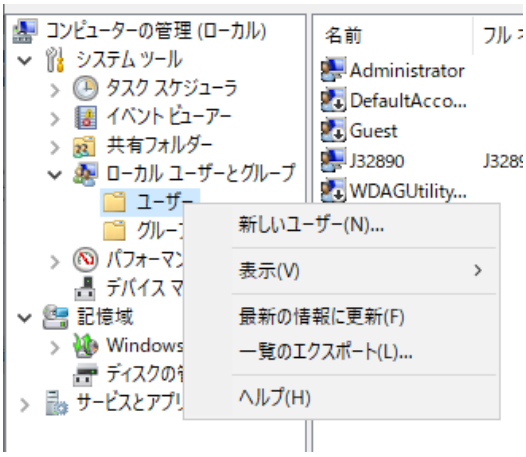
１．環境 1、環境 2 に共通するユーザーを作成

まず環境 1 から環境 2 を参照するための共通のユーザーを作成します。
最初に環境 1 にログインし、手順を実施します。

１．　Windows のスタートメニューから「Windows 管理ツール/コンピューターの管理」を選択します。



２．　「システムツール/ローカルユーザーとグループ/ユーザー」の右クリックメニューを開き
「新しいユーザー」を選択します。



3．　接続用のユーザーを作成します。

ユーザー名、パスワードの入力と、設定値「ユーザーは次回ログオン時にパスワードの変更が必要」の OFF、「パスワードを無期限にする」を ON にし「作成」ボタンを押し、作成後に「閉じる」を押します。

ここで作成するユーザーと同じ情報で環境 2 にユーザーを作成する必要があるため、本情報は忘れないようご注意ください。

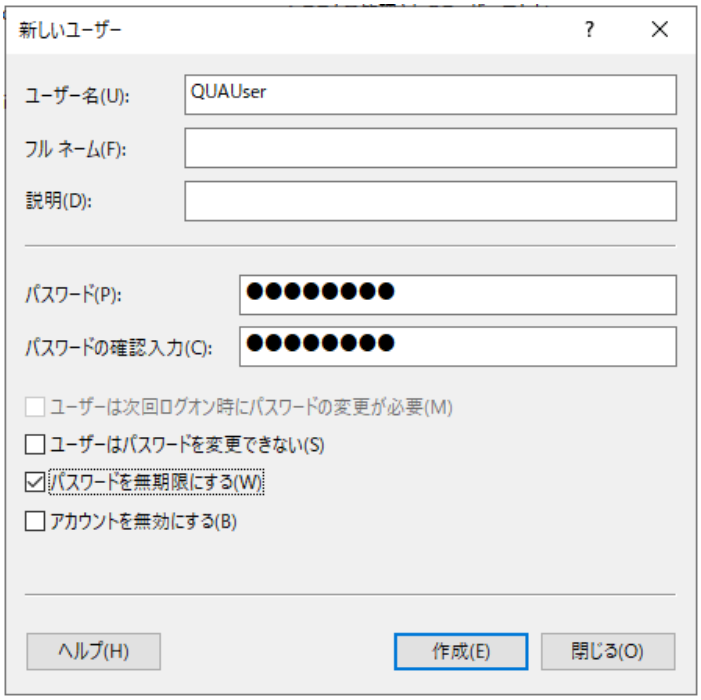
※ここではサンプルとして以下ユーザー名、パスワードで作成します。

ユーザー名、パスワードは適宜変更してください。

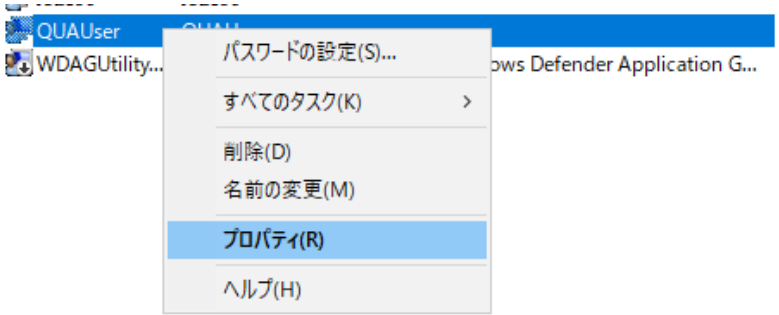
ユーザー名 ：QUAUser

パスワード ：P@ssw0rd

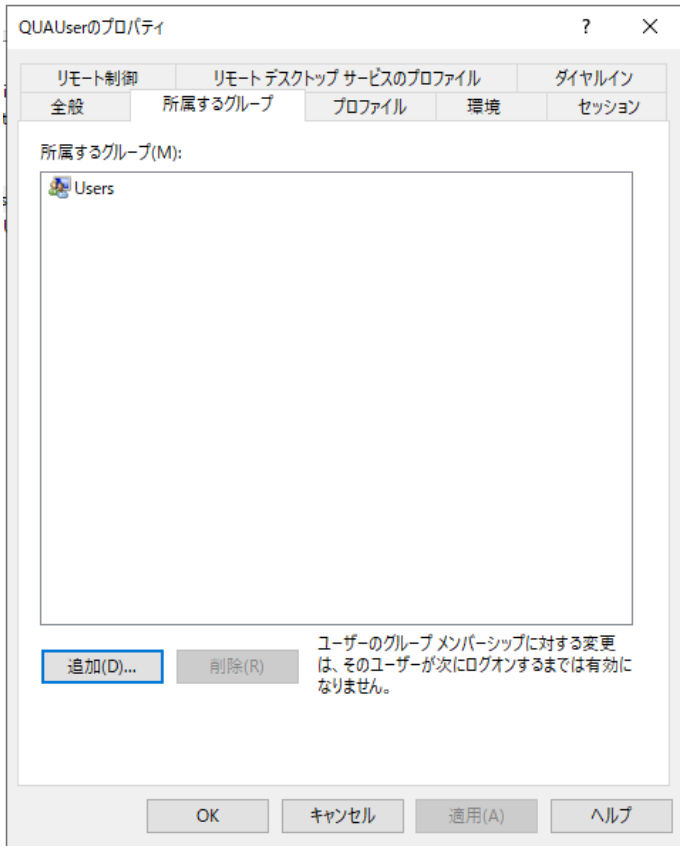
※必要に応じて、フルネーム、説明欄も記述してください。



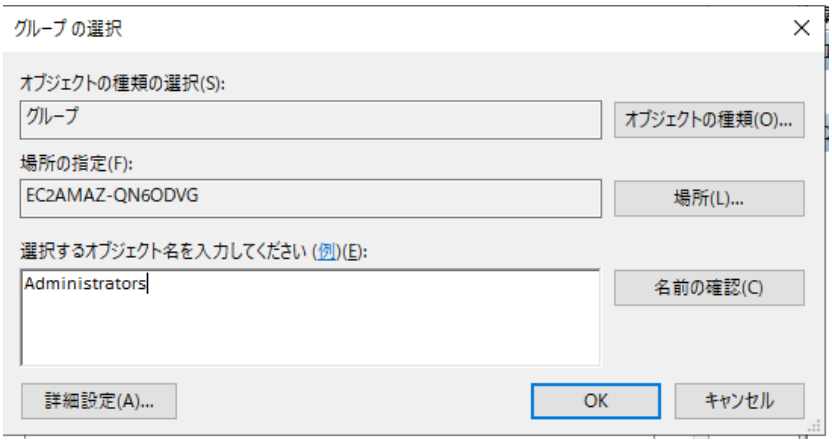
4．　作成したユーザーの右クリックメニューから「プロパティ」を選択します。



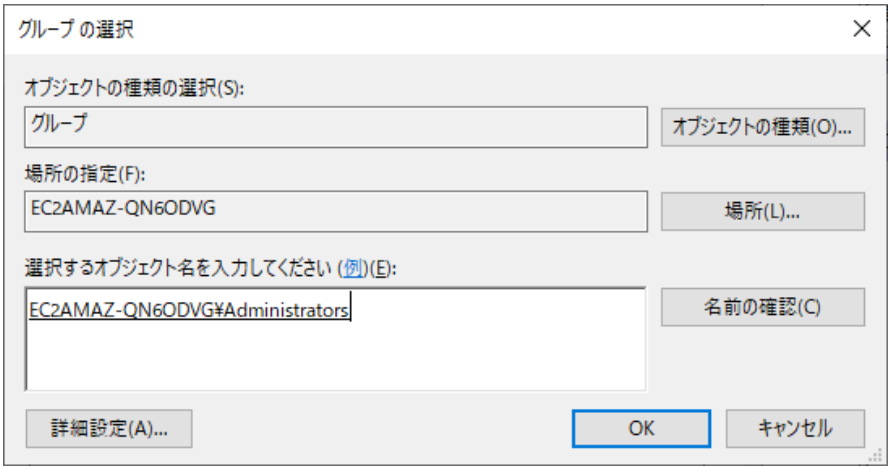
5．　タブ「所属するグループ」を選択し、「追加」ボタンを押します。



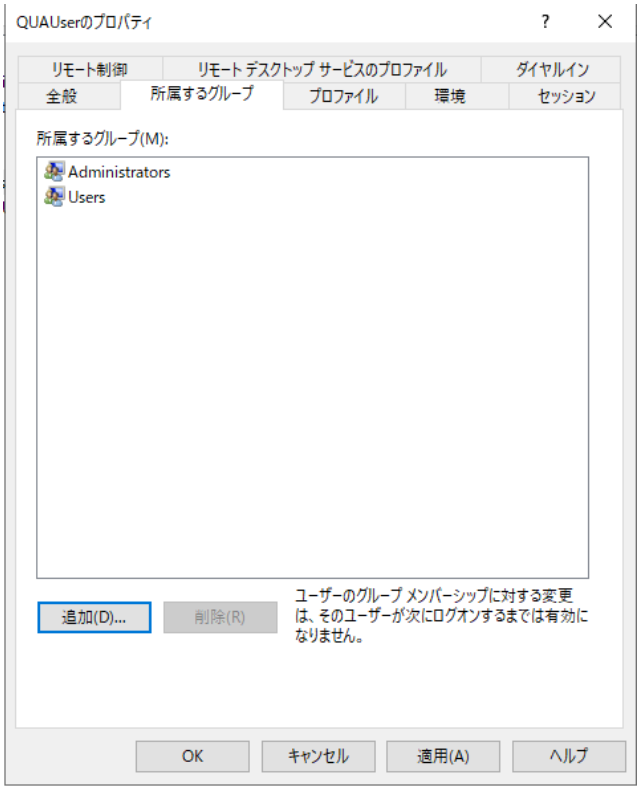
6．　表示されたダイアログにて「Administrators」と入力し、「名前の確認」ボタンを押します。



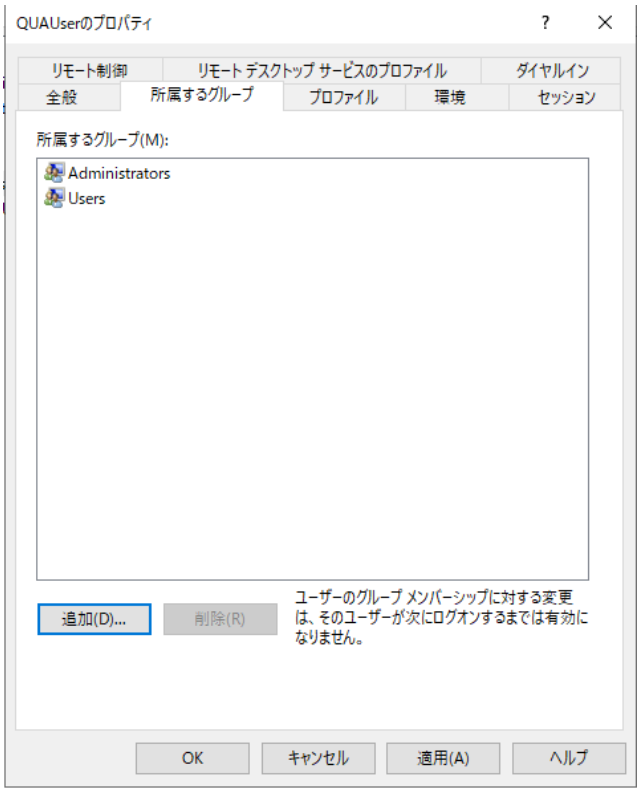
7．　グループが見つかったこと（入力欄の表示が変わったこと）を確認し、「OK」ボタンを押します。



8．　入力した「Administrators」グループが作成した QUAUser に追加されたことを確認し、「適用」ボタンを押し、「OK」ボタンを押して閉じます。



９．　本項「環境 1、環境 2 に共通するユーザーを作成」の手順１．～８．を、環境 2 においても実施します。



環境 1、環境 2 に同じ情報をもつユーザーが作成できたら本項は完了となります。

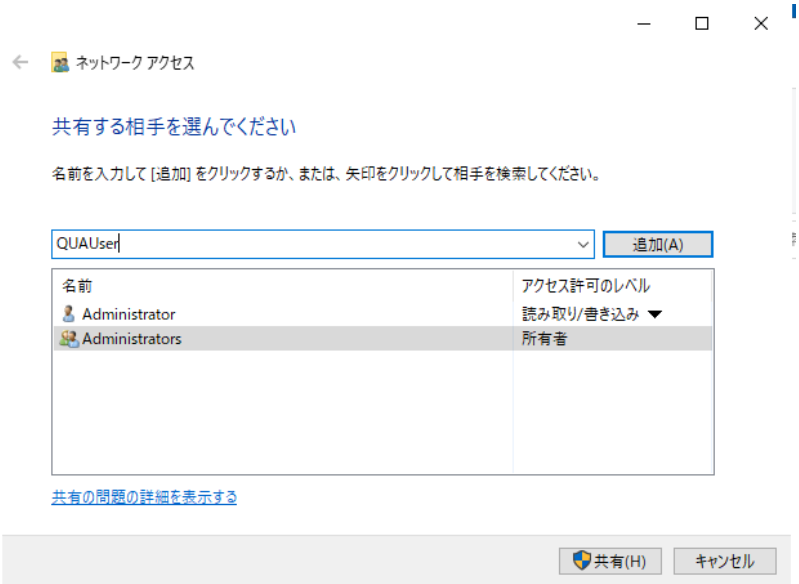
２．環境２にて共有設定を実施

次に、環境２にて環境１から参照するための設定をおこないます。

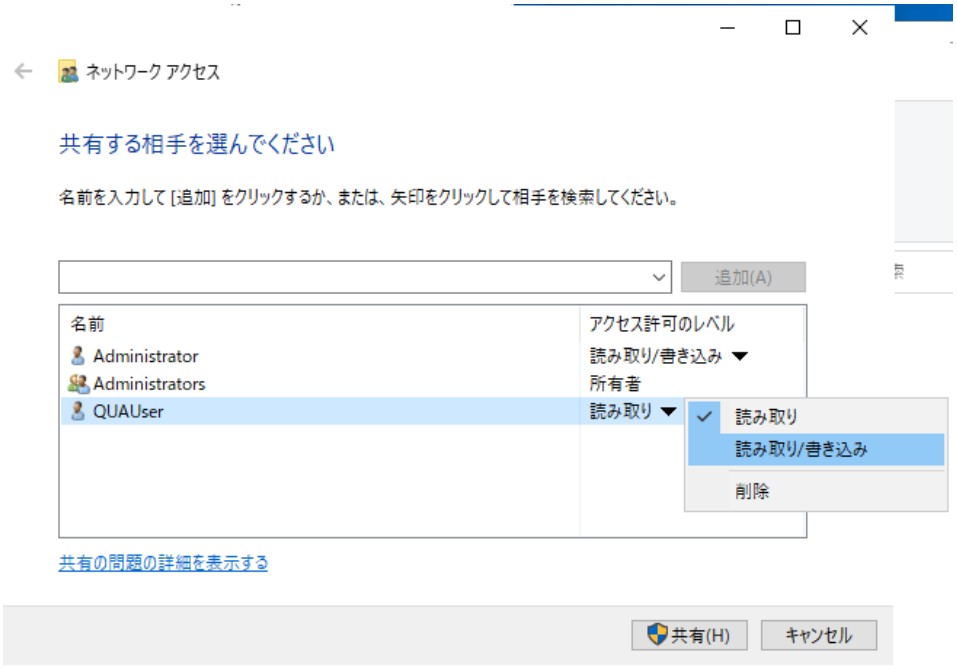
1. 環境２にログインし、参照先のフォルダの右クリックメニューから「アクセスを許可する/特定のユーザー」を選択します。
   ※ここではサンプルとして、参照先フォルダを「C:¥tmp」として説明します。



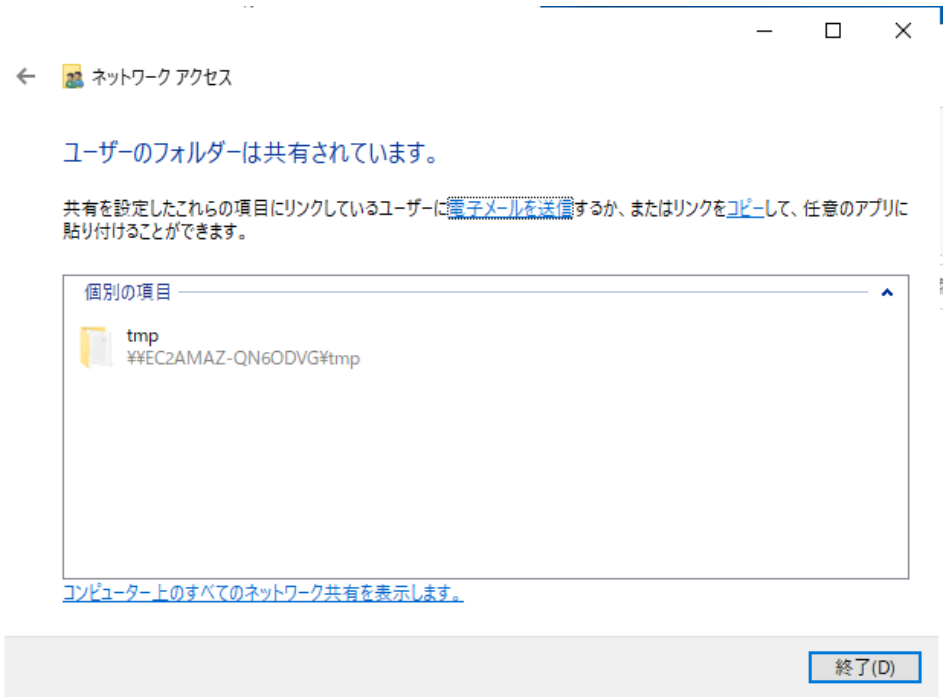
2. 表示されたダイアログにて、作成したユーザー名を入力し「追加」を押します。



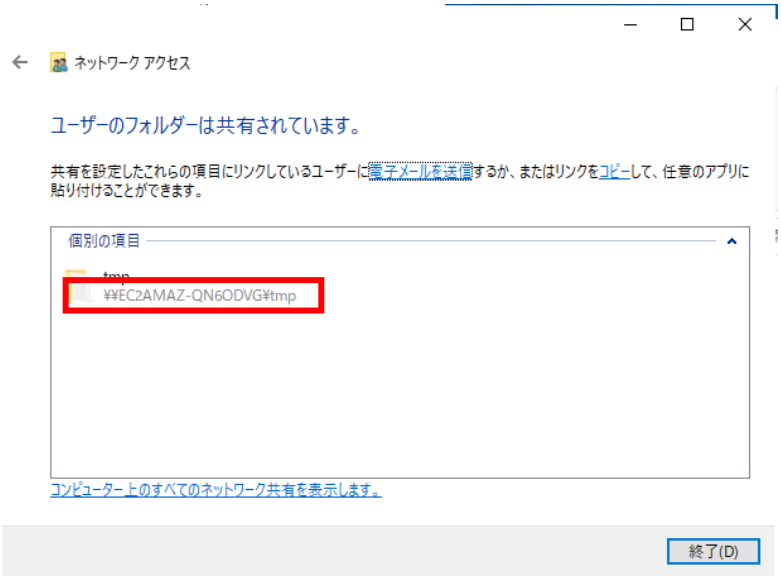
3. 追加したユーザーの「アクセス許可のレベル」を「読み取り/書き込み」に変更し、「共有」ボタンを押します。



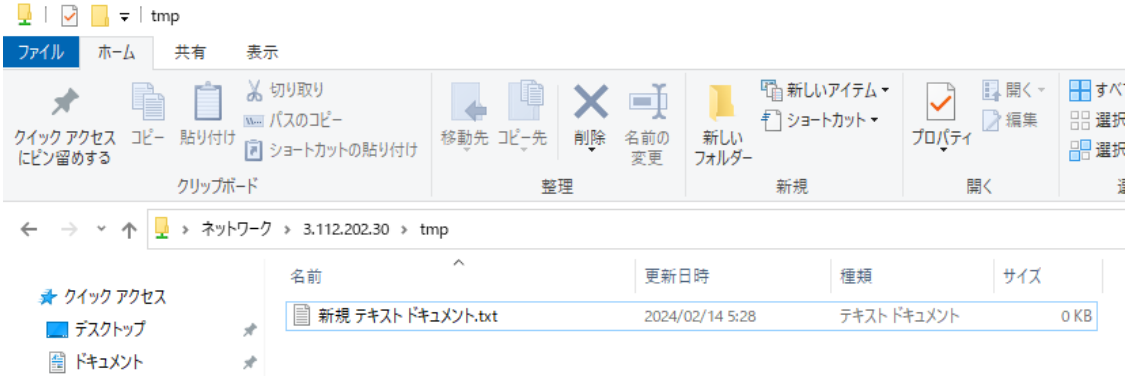
4. フォルダが共有された旨が表示されたことを確認し、「終了」を押します。



5. 参照ができるかを確認するため、環境 1 にログインしてエクスプローラーより手順４． で共有設定したフォルダが参照できるかを確認します。手順 4 で表示されたパス値のホスト名部分を IP に変更し、エクスプローラーより参照します。
※環境 2 の共有フォルダには、参照できているか確認のためファイルを 1 つ作成します。すでに存在する場合には不要です。
環境 2 の IP：3.112.202.30
環境 2 で設定したパス



本手順では環境 2 の環境は以下のため、エクスプローラーより「¥¥3.112.202.30¥tmp」と入力することで参照ができます。

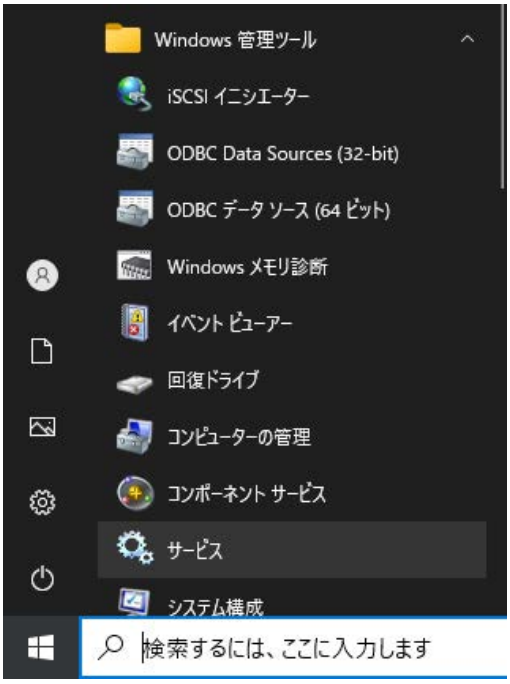


参照ができることが確認できたら、本項は完了となります。
参照できない場合には、環境 2 の Windows ファイアウォール等のセキュリティ設定やネットワーク的な問題がある可能性があります。
ネットワーク的に接続可能であるか、セキュリティ設定等を OFF にし参照可能か等ご確認ください。

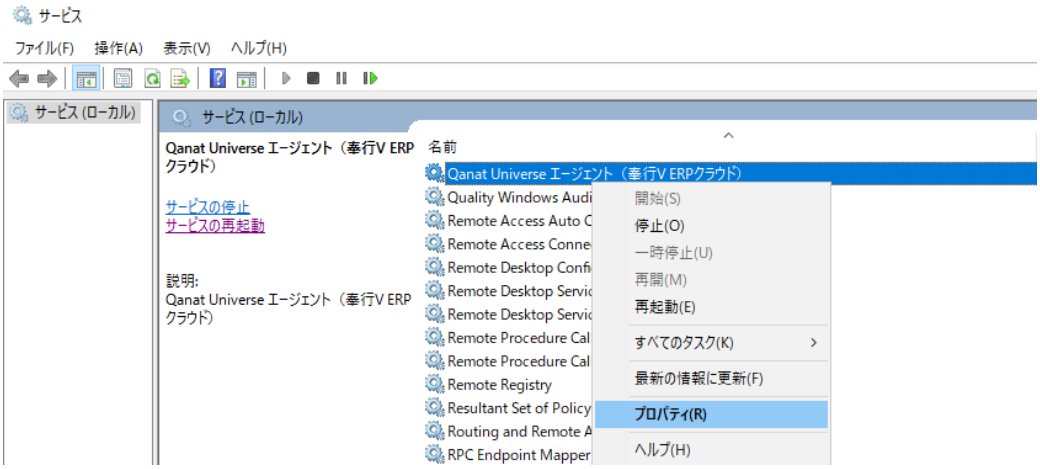
３．環境 1 にて Qanat Universe エージェントから参照するための設定を実施

最後に、環境 1 にある Qanat Universe エージェントから環境 2 のフォルダを参照する設定をおこないます。

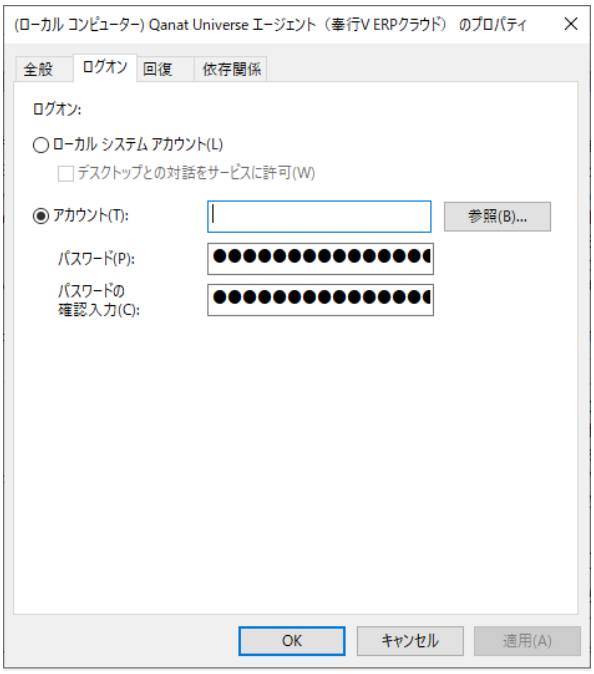
１．　環境 1 のスタートメニューから「Windows 管理ツール/サービス」を選択します。



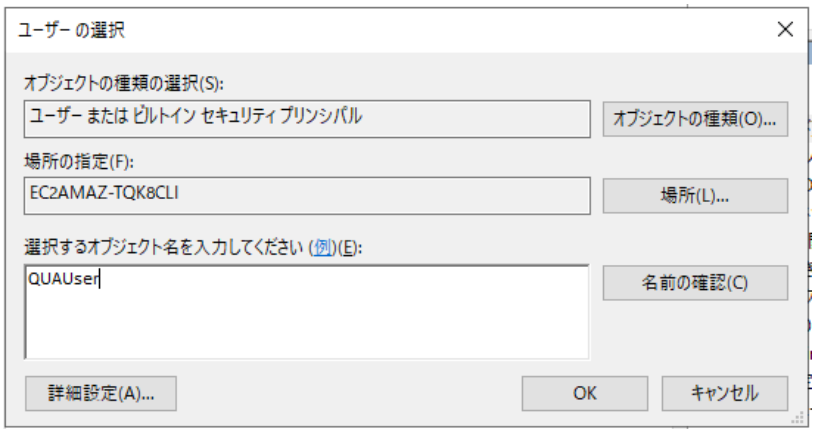
２．　表示された Windows サービスから、「Qanat Universe エージェント（奉行 V ERP クラウド）」の右クリックメニューを開き、「プロパティ」を選択します。
※「Qanat Universe Agent Update Service（奉行 V ERP クラウド）」のサービスに対する設定変更は不要です。



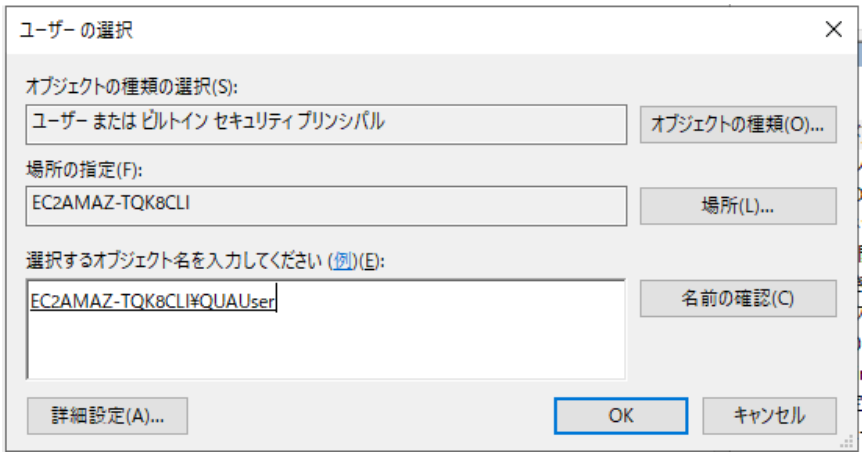
3．　開いたダイアログの「ログオン」タブを開き、設定を「アカウント」へ切り替えて「参照」ボタンを押します。



4．　入力欄に、作成したユーザー名を入力し「名前の確認」ボタンを押します。



5．　ユーザーが見つかったこと（入力欄の表示が変わったこと）を確認し、「OK」ボタンを押します。



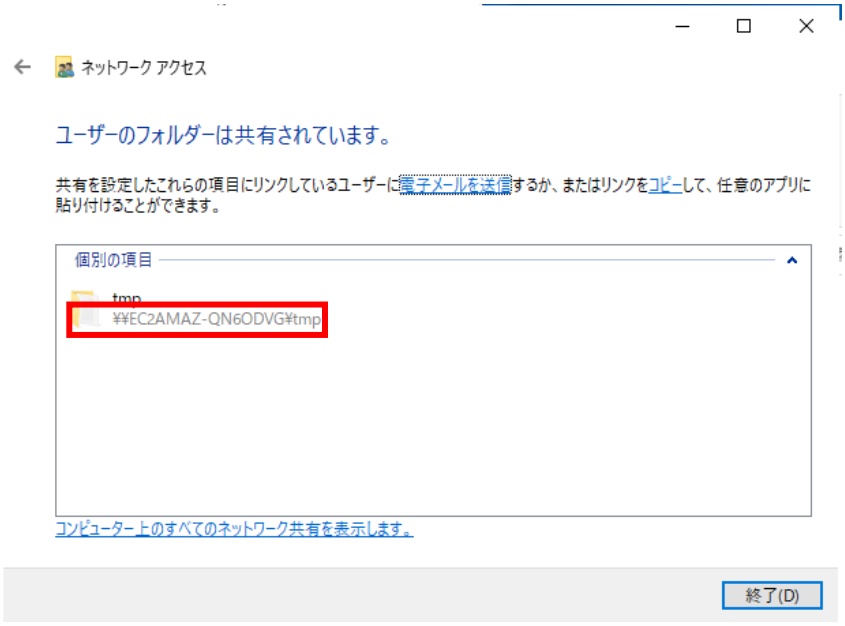
6．　表示されたダイアログにて、パスワード、パスワードの確認入力に入力されている値を削除し、ユーザーに対するパスワードを入力しなおして「適用」ボタンを押し、表示されたダイアログと本ダイアログを「OK」ボタンを押して閉じます。



7．　Windows のスタートメニューから「Qanat Universe エージェント（奉行 V ERP クラウド）」の設定ツールを開きます。

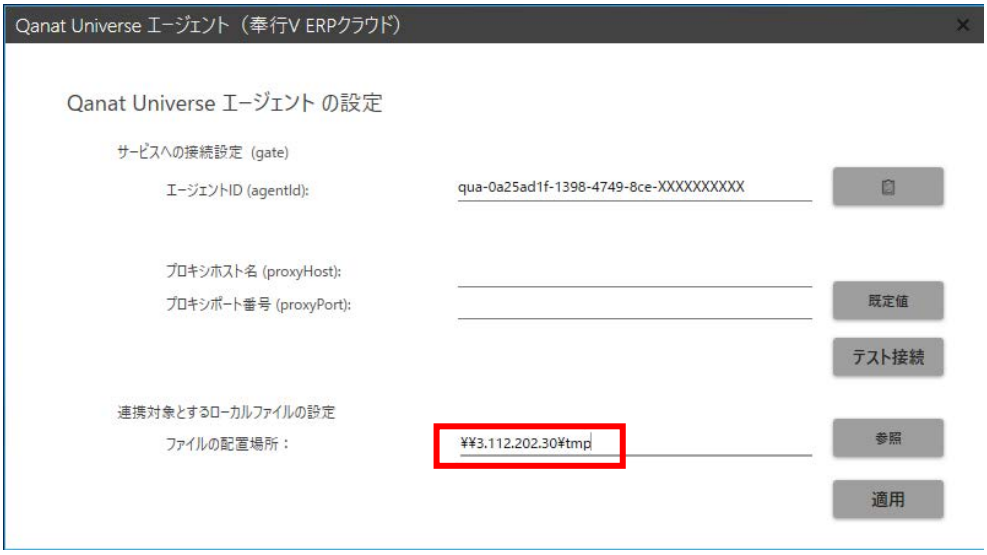


8．　設定値「ファイルの配置場所」を、環境 2 の共有フォルダのパス値に変更します。
その際、ホスト名で指定されている場合には IP での読み替えをおこないます。
※ホスト名での名前解決がおこなえないケースがあるためです。
※ここでは例として以下の環境 2 のパス値を利用し説明します。
環境 2 のパス値



Qanat Universe エージェントでの設定

ホスト名 ”EC2AMAZ-QN6ODVG” を環境 2 の IP ”3.112.202.30” に読み替えて「ファイルの配置場所」欄に設定をおこないます。



９．　「適用」ボタンを押し、ダイアログを閉じます。

以上で本項は完了となります。

Qanat Universe エージェント（奉行 V ERP クラウド） 共有サーバのフォルダを参照するための設定手順書

2025/04 版

JBCC 株式会社

本書は著作権上の保護を受けており、本書の全部あるいは一部に関して、JBCC 株式会社からの文書による許諾を得ず、無断で複写、複製することは禁じられています。また、本書はユーザーへ通知することなく変更される場合があります。